

令和元年度 第2回学校運営協議会 議事録

- 日 時 令和元年12月3日(火) 18:00～19:30
- 会 場 荻野中学校 A棟3階ふれあいホール
- 参加者 出席者13名 欠席者3名

○概 要

1 会長挨拶

元号が新となった今年も残すところわずかとなりましたが、学校では3年生の進路に係る面談も一通り終了したとのこと。地域住民として様々な形で、生徒のこれからを応援したと考えている。現在、厚木市教育委員会から委嘱を受けて、第二次市教育振興基本計画の策定に参画している。会議の中では、学校教育の充実とともに家庭教育の充実を図ることが話題となっている。とりわけ児童虐待の問題については、地域内での連携が重要だと考える。今後も地域と学校が連携したよりよい社会の形成を期待したい。

2 学校長挨拶

近年の異常とも思える気象状況に驚いている。昨年度のこの時期、本校はインフルエンザの罹患者が120名にも及ぶ事態に見舞われたが、今年は昨年のような状況にはなく、校内の教育活動も計画通りに進んでいる。今年は国内外で変わり目の年だったように思う。こうした中、校内では一つ一つの教育活動に丁寧に対応していきたいと考えている。

委員の皆さんから貴重なご意見等をいただき、今後の教育活動に生かしていきたい。

3 議事

I 学校評価についての説明 <担当総括教諭>

○11月に実施した保護者向けアンケートの集計結果について

※アンケート内容については、経年変化を図るため、昨年度とほぼ同様の内容となっている。

- ・「元気に学校に通っているか」に関しては、全体としておおむね良好の回答を得ている。
- ・学習に関しては課題が浮き彫りになっており、「生徒に理解されやすい丁寧な指導」「家庭学習の習慣化」に関しては、良好とした回答が50%を下回る学年もあった。
→家庭学習シートを配布し、日々の学習課題の進捗状況の記入を課しているが、実態が家庭に見えにくい状況が評価にも影響していると考えている。
- ・キャリア教育の推進については、学年が上がるにつれ、多少は評価も高まっているが、家庭に学習成果が十分に伝わっていないことが要因だと思われる。

- ・地域活動やボランティア活動について、評価が低くなっている。また、地域におけるあいさつの様子についても改善を期待する声が大きくなっている。校内ではしっかりとあいさつができてきている様子に対して、校外での様子に期待をすとの意見が多くなっている。

○ 1 月に実施した生徒向けアンケートの集計結果について

- ・学年間の開きが大きいのだが、いじめの雰囲気を感じるとする学年もあった。
- ・同様に、相談しやすい雰囲気にあるとの問いに否定的に回答する生徒が目立った学年もあった。
- ・ボランティア活動については、意欲的ではないとする回答が学年が進むにつれ増えてきていることが気になる。

II 説明を受けての協議

○中学生の地域行事への参加・ボランティア活動の推進に向けて、どのような取り組みがあるだろうか？

- ・地域美化清掃の日程に合わせて、部活動の計画を作成し、参加しやすい状況を作ろうとしている。
- ・地域の結びつきがまだまだ弱く、顔の見える関係が出来上がっていないので改善したい。
- ・地域からは、家庭の協力態勢づくりを促したい。
- ・自治会によっては、小中学生の参加率が高まっている。地域に目を向けられるような働き掛けが今後必要。
- ・地域行事も必要だが、加えて、災害時の働き手として、中学生にかける期待は大きい。→中学生が防災訓練に参加しやすいシステムづくり。

○荻野中のホームページの活用について

- ・アクセス数は？
- ・修学旅行など大きな行事があったときには特に閲覧数が伸びます。
- ・日々の校内外の様子を報告できるように努めている。
- ・学校行事の年間計画がアップされているか？
- ・確認して、至急対応します。

III 教育委員会からのコミュニティ・スクールだよりの紹介

- ・Edu Navi
- ・小学校の活動事例の紹介

4 分散会

- 学校充実部会
- 地域協働部会

5 分散会報告

○学校充実部会 <担当総括教諭>

- ・「職場体験」「職業講話」は地域の協力なくして実施できない行事となっている。
- ・職場体験を終えての生徒の感想をもっと知りたいとの要望を受けて、次年度は実施方法にさらに工夫を加える。
- ・PTA の除草活動をすぐに運営協議会の主催とするのは難しいが、PTA と運営協議会の連名で通知することにより、地域にも呼びかけやすくなると思われる。

○地域協働部会 <担当総括教諭>

- ・生徒を地域行事に参加させたいのだが、地域行事についてどのように、またどのような行事に参加させることができるのか、整理する必要がある。
- ・地域の方々を学校にボランティアとして招いて、活動していただいている姿を生徒に見せることも大きな効果が期待できる。
- ・ボランティア活動について、学校と地域の相互の乗り入れについてシステムづくりを進めていく。

◇12月の地域美化清掃の出席状況は、1年生57名・2年生は31名・3年生は14名。

- ・部活動と地域活動との関係性を整理していきたい。

6 意見交換

○中学生のいない家庭と中学校とのつながり方

- ・関わりたい気持ちはあるが、関わり方が分からないとする方も多い。
- ・情報発信することにより、関わりを持つことにためらいがなくなるのではないか。
- ・荻野地区は多くの協力者がいる。荻野中学校も多くの協力者に支えられている。情報発信を増やし、さらに協力者を募りたい。
- ・「開かれた学校」がキーワードになっている。学校も変わってきている。地域の教育資源を校内に取り入れていくことが必須となっている。学校のことを地域の方に知ってもらえるような学校づくりをしたい。

○他県ではフレンドリーで信頼できる地域と学校の間関係を築くことが難しい地域もある。

- ・荻野地区では学校が苦しい時にも、地域が学校を支えてきている歴史がある。また、地域も学校から恩恵を受けている歴史がある。
- ・現在の地域の雰囲気大切にしたい。

○地域には様々なライフスタイルの方がいる。

- ・行事や活動にもバリエーションを持たせることによって参加率を高めることができるのではないか。

7 閉会

地域に対して、思い入れや愛着を感じられ、将来地域のコミュニティを支える人材を育成するために、お知恵を拝借したい。今後ご協力お願いいたします。

○ 次回の会議予定

第3回 2月25日(火) 18時00分～ 荻野中学校ふれあいホール

- 1年間の反省 来年度に向けて 学校経営方針の承認等
- 次年度の教育課程編成に向けての各部の話し合い